

内定者の声

～令和4年度入省予定 一般職事務系(高卒者試験)～



写真: 中部山岳国立公園上高地

はじめに

この度は「内定者の声」をご覧くださり、ありがとうございます。

この冊子は、令和4年度入省予定の一般職事務系の内定者が、入省へのきっかけや勉強方法等の内定までの過程をまとめたものです。

この冊子をお読みいただいている方の中には、一般職事務系に興味をもっていたり、もう既に一般職事務系、そして環境省を志望していたりと様々な方がいらっしゃると思います。そんな皆様へ有益な情報をお届けしたいと思い、内定者の体験談を掲載しておりますので、是非活用ください。

私達が体験した令和3年は、オンラインでの面接等、まだまだ異例な状況が続いていました。皆様におかれましても、最新の情報を確認しながら受験の準備を進めていただければと思います。

この冊子が、皆様の不安の軽減、モチベーションアップへと繋がれば幸いです。

令和4年度環境省入省予定
一般職事務系(高卒者試験)内定者一同

目次

○はじめに（内定者一同）	・ ・ ・ P2
○目次	・ ・ ・ P3
○第一部 基礎情報	・ ・ ・ P4
○第二部 内定者プロフィール	・ ・ ・ P6
○おわりに～環境省志望者へのメッセージ～	・ ・ ・ P13

第一部 基礎情報

①R3年度試験スケジュール

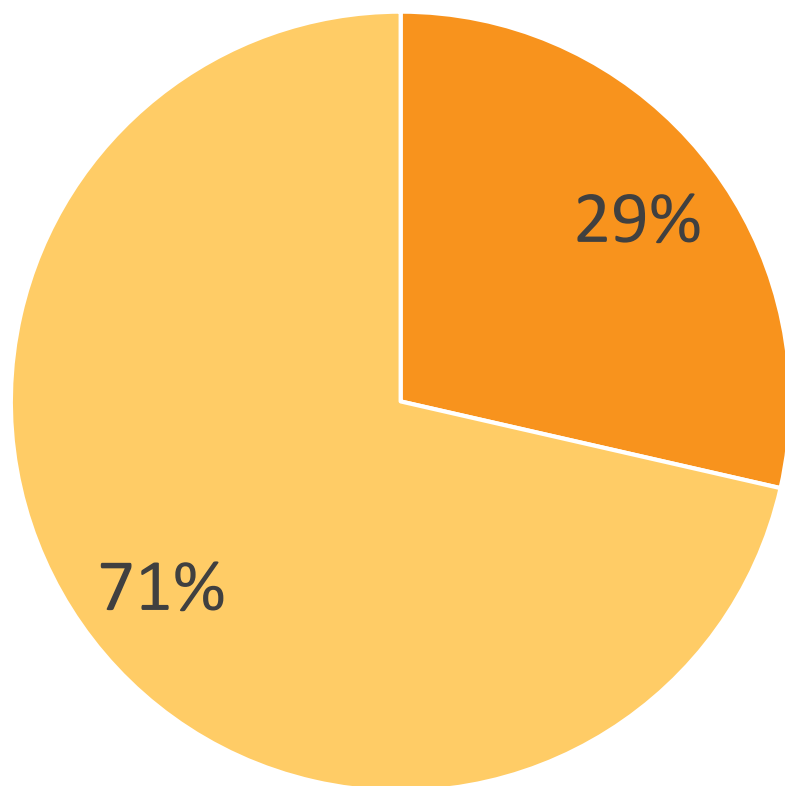
日程	内容
令和3年 5月7日～	受験案内がHP掲載される（人事院）
6月21日～6月30日	インターネットによる受験申込
9月5日	第1次試験
10月7日	第1次試験合格発表
10月8日、11日、12日	環境省官庁訪問（※）
10月13日～10月22日	第2次試験（人物）
11月16日	最終合格発表
11月18日	採用面接→内定式

※ 官庁訪問の予約受付は人事院の第1次試験合格発表数日前に開始。
実施方法はWEB面接が基本。

②内定者基礎データ集

男女比

■ 男性 ■ 女性

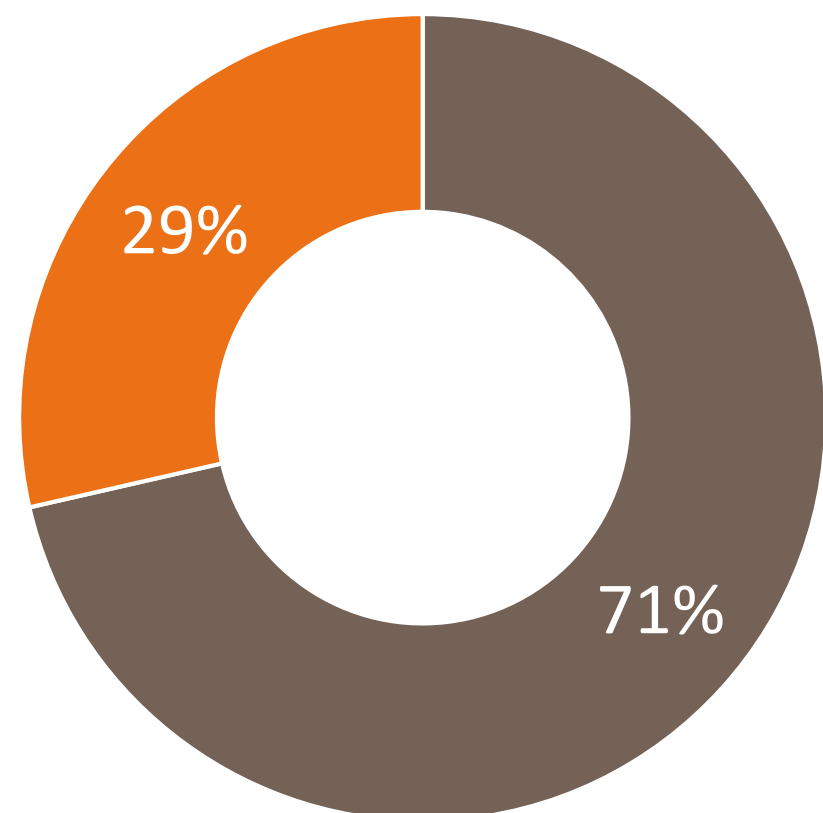


最終学歴

大原法律専門学校 東京法律専門学校
大原簿記公務員専門学校
盛岡公務員法律専門学校
日本外国語専門学校 大原専門学校

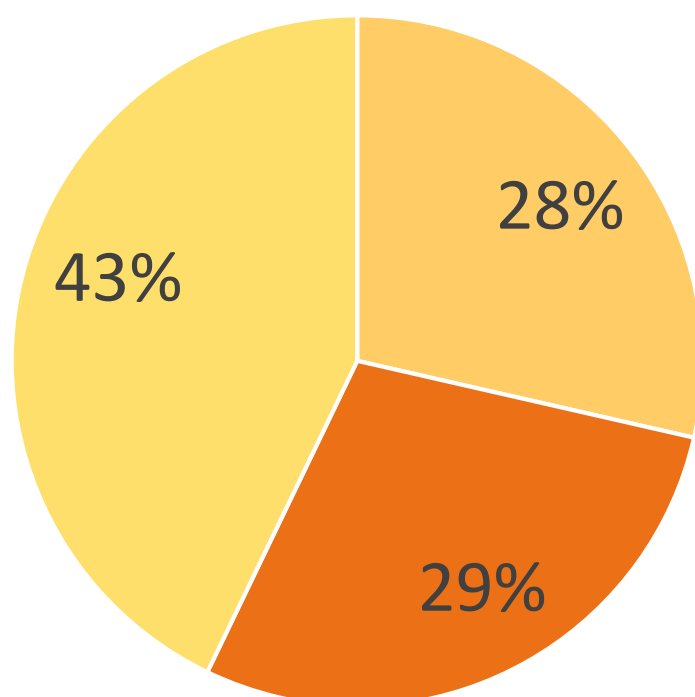
官庁訪問日

■ 10月8日 ■ 10月11日



説明会参加回数

■ 2回 ■ 1回 ■ 参加していない



出身地

神奈川県 福島県 新潟県
青森県 東京都

第二部 内定者プロフィール

ここからは一般職事務系（高卒者試験）内定者7名が環境省志望動機や公務員試験勉強方法・面接対策について、自身の体験に基づいて記述しています。
ぜひ、ご覧ください！

内定者 A

【出身地】新潟県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味／特技】ソフトテニス

志望動機

私が環境省を志望した理由は、出身地である新潟県で朱鷺や新潟水俣病といった環境に関わる問題を教わる機会が多くあり、そのような機会を通して環境問題を解決する一員として仕事がしてみたいと思ったからです。

勉強方法

・基礎能力試験

私は公務員になるための専門学校に通っていたので学校から出された課題を確実に行き、模試などのテストを繰り返し取り組むようにしていました。またその際に間違えた問題の直しノートを作成し、同じ間違いをしないような工夫もしていました。数的科目は自信があったので試験直前は暗記科目を重点的に行き、苦手な分野を1つでもなくせるようにしていました。

・面接&官庁訪問

(面接)

地方公務員ではなく国家公務員を目指す理由と自分の強みを明確にしました。友人に協力してもらい面接の練習をしたり様々な面接の試験を受けたりすることで自信をつけました。

(官庁訪問)

環境省で携わりたい仕事を自分の経験とあわせて複数用意することで熱意をアピールしました。環境問題のニュースに目を通し時事的なことにも対応できるようにしました。

・内定までの過ごし方、心がけた事

社会経験を積む意味でアルバイトを行ったり、仕事をする際に使用する Word、Excel、PowerPoint を自主的に勉強したりしました。

アドバイス

筆記・面接を問わず、試験はとにかくたくさん受けることで自信をつけることができると思うので第一志望以外の試験も受けることをおすすめします。また、説明会には必ず参加しましょう。私は説明会に参加しなかったことを後悔しています。参加することでその省庁に興味があることや入庁したいという意思表示になると思います。省庁について深く知ることのできるため積極的に参加しましょう。

最終的には入庁したいという熱意をどれだけ最終的には入庁したいという熱意をどれだけ伝え伝えられるかだと思います。最後まで諦めずに頑張ってください。ささやかではありますが、皆様のご健闘をお祈りしております。

内定者B

【出身地】東京都

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味／特技】ギターの弾き語り、ドライブ、再現料理

志望動機

私が環境省を志望した理由は説明会に参加した際に感じた、アットホームな雰囲気に着かれて私もここで働きたいと思い志望致しました。

勉強方法

・基礎能力試験

学校の勉強の他に毎日2～3時間勉強してました。私は科学、物理、を捨て教科にして、日本史、世界史を単元を絞って勉強しました。その代わりに数的推理、判断推理、図形などの数的科目は7～8割安定して取れる様に勉強しました。試験直前は過去問をまわして、間違えたところの復習と暗記系科目をひたすらやりました。

・面接&官庁訪問

（面接）

自分の長所、短所を友人や先生、家族に聞きました。国家公務員にしかできない事は何なのか考えて望みました。面接はとにかく経験がものを言うと思ったので、ありとあらゆる試験を手当たり次第受けて面接の経験を積んでいき挑みました。

（官庁訪問）

他省庁ではなく環境省に入る理由を伝えられる様に準備しました。説明会に参加しそこでしか手に入れない情報などをメモしました。また、政策や環境に関する時事などはある程度準備して挑みました。あとは自信を持って挑みました！

・内定までの過ごし方、心がけた事

色々なことを経験した方がいいと考えたので、様々なアルバイトに挑戦しました。また、Word, Excel, PowerPoint をしっかり使える様に勉強しました。それと、趣味を増やす事に尽力しました。

アドバイス

私は国家一般職の他に最終合格をもらっていたのでしませんでした。公務員の他に一般企業もへ移行して受けることをおすすめします。様々なところを受ける事によって、本当に自分のしたい事が見えてくると思います。多くの試験を受ける事により試験での経験を積む事ができ、本命の試験で緊張しなくなると思います。また、各教科ごとにその教科が得意な友達を作り、一緒に勉強したり聞いたりするのもオススメです。公務員試験の合格はとても難しく大変なものだと思いますが、皆さんの就職活動が納得のいくものになるよう願っております。

このたびは内定者の声を読んでくださりありがとうございました。

内定者C

【出身地】神奈川県三浦市

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味/特技】バレーボール・シュノーケリング

志望動機

幼い頃から母の実家がある沖縄県でシュノーケリングなどをしていて、海を身近に感じながら育ちました。その中で水質汚染をはじめ、近年問題視されている様々な環境問題に向き合いながら自然を保護したいと思い志望させていただきました。

勉強方法・面接対策

・勉強方法

私は自分の得意教科と苦手教科の分析を行いました。その中で、苦手教科は得意教科よりも勉強時間を多めに確保するよう心がけました。その他にも本番の試験ではすべての教科で正解することを目標とせずに、自分の得意な分野では必ず点を取れるように計画を立てました。

・面接対策

とにかく環境省についてたくさん調べました。例えば、環境省が行っている取り組みや部署についてインターネットやパンフレットなどで細かく調べました。その他にも業務説明会でお話しされていた方のお名前やパンフレットに載っている方のお名前をできる限り覚えめました。面接で自分について知ってもらい覚えてもらうには、まずは自分自身が知る努力をしなければならない。そう思いました。そうすることで、自然と自分の熱意も伝わるのではないかなと思います。

内定者D

【出身地】福島県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味/特技】水泳、楽器演奏

志望動機

学校の授業で自然環境について調べる機会があり、調べていく中で生物が早いスピードで絶滅している事を知りました。私は、今置かれている現状を変えていきたいと思ったことがきっかけで環境省の仕事に興味を持つようになりました。今後さらに便利で快適な生活になり多様化する社会の中でも、自然を愛する人々の気持ちを大切に、現在の環境について知らない方へ自然を知ってもらえるよう取り組んでいきたいです。そして、自然と触れ合う機会を絶やさないような環境の保全や形成に携わっていききたいと思い志望しました。

勉強方法・面接対策

・基礎能力試験

過去問を十数年分解き、特に時間配分に気を配っていました。私の場合、暗記が苦手だったので知識分野を重点的に解き、間違えた問題を反復して身につけるようにしてきました。

・面接試験

やりたい仕事を明確にし、どんな取り組みをしているかを調べました。そして、面接カードを中心にどんな質問が来るかを予測し、自己分析やなぜ国家公務員なのか準備してきました。友人などと明るく笑顔で話す練習を多くしてきました。

内定者E

【出身地】神奈川県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味/特技】絵を描くこと、世界史(歴史)を学ぶこと、水族館へ行くこと

志望動機

幼い頃から動物園や水族館へ行っていたり、家で親と一緒に動物を飼ったり、植物を育てていたり、自然環境へ興味をもっていました。いつからか興味をもってるだけではなく、自分で調べるようになり、その時に1つの例ですが、環境問題によって動植物の住む場所が減っていたりと、私達には環境問題が切っても切り離せないことを理解したのがきっかけでした。それからは、自分自身の手で環境問題に対して取り組みたい気持ちが強くなったことで、環境省を志望しました。

勉強方法・面接対策

・勉強方法

本腰を入れたのは2月か3月でしたが、私は2年制の専門学校に通いながら試験を受けたので、基本学校が出してくれていた小テストや過去問を取り組んでいました。とにかく問題集や過去問を何度も何度も解くと、自分が得意、不得意な科目、範囲、傾向がなんとなく分かるので点数も伸びると思います。また、これも先生からの提示でしたが、間違い直しノートは絶対にやった方が良いでしょう。自分自身が間違えた所を、ノートに纏めて何度も見返すという物なのですが、時短にもなりますし、何より自分が間違いやすいところが一瞬で分かるので凄く伸びます。間違い直しノート、オススメです。

あと個人的には勉強中、モチベを上げるために音楽を聞きながらやってました。勉強が好きな人はあまりいないと思うので、自分が好きなことも適度に挟むと良いと思います。

・面接対策

面接対策としては、これも学校で何度も面接練習をしていたのですが、私自身練習してて思ったのは、勿論自分が何を言いたいのか、分かりやすく伝える事も大事だと思うのですが、何があっても最初から最後までへこたれない事が1番重要だと思います。面接官の方も、自分達の為に時間を割いて話を聞いてくれている訳なので、緊張してるから小さい声だったり…リラックスしすぎてだらだらしていたり…ではなく、ハキハキ喋ったり、表情を明るくしてみたり、頷いてみたり、もし痛い所を付かれて頭が真っ白になっても、負けじと答えを返したり…少しでも意識してみると良いと思います。正直に取り組んだ分だけ、きっと面接官の方からの印象が良い方向へ変わると私は思います。

内定者F

【出身地】青森県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味／特技】読書・散歩

志望動機

現代社会で、生態系に影響を与え、深刻化している環境問題を改善し、「人と環境が調和した社会」を実現するために志望しました。幼い頃から、生き物が好きで、自然を身近に感じながら育ってきました。しかし、森林破壊や絶滅危惧等の環境問題に関する記事を目にして、衝撃を受け、今あるかけがいのない資源・生命が失われていくことに、大きな危機感を抱きました。そのため、将来は環境に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。環境省は、さまざまな方面から、環境を守り、より良くしていくためにフォーカスしています。未来の世代に在るべき姿の環境を残し、その先も永く繋いでいくことのできる環境づくりに、自分自身ができることを活かして最大限貢献していきたいと思い、環境省の志望に至りました。

勉強方法

・基礎能力試験

公務員試験の勉強を本格的に始めたのは3月頃でした。主な勉強方法として、過去問題を実際の試験と同じ時間で解くことを繰り返していました。基礎能力試験では、数的処理・判断推理で確実に点を取りたいと思っていたので、重点的に勉強し、知識分野等は「浅く広く」を心がけて、自分のなかで勉強にメリハリをつけていました。

・適性試験

適性試験は、限られた時間内により多くの問題を解くために、1問にかける時間を徐々に短縮できるように心がけて勉強しました。毎日2回程、問題集を解き続けて感覚が鈍らないようにしていました。

・作文試験

作文は得意としていた分野なので、他の分野に力を入れるためにも、重点的には取り組みませんでした。過去の作文試験などを何度か解いてみることで、文の構成や展開の仕方を確認しました。

・面接

自分の考えを、しっかりと理解しておけるように紙に書き出す程度で、模擬面接はほとんど行いませんでした。環境省のしくみや活動等を調べて理解を深めていました。本番は、面接官の方の質問に落ち着いて答え、自分の思いや考えを正直に伝えることを心がけ、良い緊張感で挑みました。面接後に「これも言えば良かった」とならないように、あらかじめ予想した質問に対する回答を書き出しておく、本番に焦らず冷静に答えることができると思います。

内定者G

【出身地】福島県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味／特技】映画鑑賞、料理

志望動機

地球温暖化による影響を少しでも軽減し、住みやすい環境を後世の人々まで残したいと考えたのがきっかけです。地球温暖化の影響は、台風の増加やそれに伴う洪水の発生、平均気温の上昇など、私たちの目に見えるようになってきました。そういった被害を減少させ、今を生きる人の命を守ることはもちろん、後世の人の生活や命も守りたいと思い、志望しました。

勉強方法・面接対策

・勉強方法

公務員の専門学校に通っていたので、先生から与えられた課題を解くことが多かったです。一年目は、授業で知識を定着させました。政治経済や、生物、物理などは、高校時代にも学習していたので、あまり苦労はしませんでした。しかし、数的推理や、判断推理などの公務員試験特有の教科は、初めて学習したので、少し苦労しました。しかし、何度も繰り返し解いたり、分からない問題は先生や友人に聞いたりして、点数を取れるようにしました。二年目は、過去問を中心に学習を進めました。見直しを大切にし、間違えた問題と似た問題も完璧にできるようにしました。また、国家公務員の過去問だけでなく、他の自治体の過去問も解き、点数を取れるようにしました。

・面接対策

環境省のホームページを何度も見て、行っている取り組みをチェックし、面接に備えました。志望動機はもちろん、長所、短所などはしっかりと考え、なにを聞かれても答えられるように準備しました。また、友人や先生に面接練習をしてもらいアドバイスをもらいました。

おわりに

内定者の声を最後まで読んでいただき、ありがとうございます。この冊子では今年度の内定者が就職活動中に考え、実行してきたことを紹介しています。私たちは環境省 一般職事務系職員を目指すにあたって、それぞれのスタイルで活動してきました。就職活動中の皆様がこれを読んで、環境省一般職事務系職員を受験する際の参考の1つにしていいただくと幸いです。

就職活動中に自己分析をしていく中で、行き詰まってしまい思い悩むこともあると思います。そんなときは1人で抱え込まずにご家族やご友人に相談をしてみたり、説明会等に参加したりすることで解決する悩みもあるのではないのでしょうか。

就職活動においては選択肢となる職業がたくさんあります。少しでも興味がある業界があれば挑戦してみてもいいのではないでしょうか。そうすることで、納得のいく就職先にたどり着けるのではないかと思います。

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で就職活動の日程が例年とは異なりました。来年の状況は不透明ですが、皆様には就職活動にあたって悔いが残らないように積極的に活動してほしいと思っています。

最後になりますが、環境省 一般職事務系職員を目指している皆様と一緒にお仕事ができる日が来るのを楽しみにしています。

令和4年度環境省入省予定
一般職事務系（高卒者試験）内定者一同

※環境省について

環境省職員には総合職と一般職があり、それぞれ事務系、自然系、理工系に分かれています。この冊子は令和4年度環境省入省予定 一般職事務系(高卒者試験)内定者一同が作成しています。採用に関する情報に関しては下記 HP を参照ください。

○環境省HP

<http://www.env.go.jp/>

○環境省採用・キャリア形成支援情報 HP

<http://www.env.go.jp/guide/saiyo/index.html>